



子育てに「畳」がよい理由

1. 素材感 2. 安心・快適（機能性）
3. コミュニケーション促進 4. 和の感性を育む

1

素材感

香り。感触。色味・質感。音。

畳の持つ素材感は、“五感で感じるやさしさ”を育みます。幼少の頃に肌で感じたやさしさは、日々の思い出と共に記憶の片隅にいつまでも残るでしょう。

- **香り** い草の香りは森林浴と同じ位の種類の成分で構成され鎮静効果があります。
- **感触** 畳表の感触は足裏を刺激し、脳を活性化。
- **色味・質感** 使い込むほど味の出る色味・質感は自然素材の尊さを、い草の持つ凹凸や織りがつくりあげる清涼感や温もり感を伝えます。



2

安心・快適（機能性）

畳は子供に安全・安心な床材で、室内の快適性も向上します。

赤ちゃんのハイハイ～伝い歩き～ヨチヨチ歩きといった成長の過程では、清潔感のある安全でころんでも安心な畳は、もっとも適した床材といえるでしょう。一般的に脳が形成される乳幼児期の成長段階において「ハイハイを十分にさせる」環境作りが大切だと言われています。

- **適度な弾力性** ころんでも安心。
- **自然の建材** 有害物質がない。
- **吸着性** 二酸化窒素やVOCを吸収。
- **遮音性** 子供の足音、声や振動を吸収。
- **断熱保温効果** 冬暖かく、夏涼しい。
- **調湿性** 室内の温湿度を調整。



資料協力:株式会社リビング・デザインセンター OZONE情報バンク



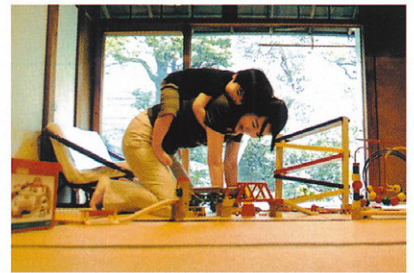
遊んで、ころんで、
すくすく。

3

コミュニケーション促進

畳の上での生活は、子供と目線の高さが近くなるので、コミュニケーションのあり方も変わってきます。膝に乗せたり、一緒にじゃれあったり、親子のスキンシップが円滑化され、気さくな会話が生まれやすくなります。夜、家族が布団で自由に寝るふれあい・楽しさは別格です。

- **低座・床座** 子供と目線を合わせやすい。
- **自由な距離感** 親子の距離感を縮めます。
- **くつろぎ感** リラックス効果。
- **自由な就寝** 添い寝、川の字で寝る楽しみ。



4

和の感性を育む

畳の部屋は「和の感性の象徴」であり、家族のくつろぎや癒しを具現化する装置といえます。畳は使い方を誤らなければとても長く使える自然の建材です。日々の暮らしで自然の恵みを大切にすること、ものを長く大事に使うことの意義や楽しさを肌で感じられます。畳の価値の再発見が和の感性を育むこととなるでしょう。

- **安らぎ** 自由な姿勢が生む安らぎ。
- **風流** 四季で変化する自然の気配。
- **優柔** 可変的であまいいな間仕切りが生み出す柔らかなコミュニケーション。
- **室礼** 季節の行事や飾りを楽しむ。
- **簡素美** 家具を多様しないシンプルでスッカリとした空間の美しさ。

